COM® JD シリーズ

JD-240・JD-150F・JD-240W・JD-320

卓上型 自動帯掛機

★取扱説明書★

TAIYO SEIKI CO., LTD.

COM-JD シリーズ

JD-240・JD-150F・JD-240W・JD-320

卓上型自動帯束機

COM-JD型卓上自動帯束機は非常にコンパクトに設計され、誰にでも簡単に速く帯掛作業ができるように作られています。
COM-JD型自動帯束機はテープの輪の作り方に大きな特徴があり、(特許出願済)作業面(テーブル面)より上の部分に機械的駆動部分が全くなく、一番トラブルの原因になっていた輪を作る行程(テープ送り)の問題点を解消しました。
又、電気回路も“IC”等を採用することにより、正確な働きをするようになりました。今迄時間のかかっていた帯掛が一層速く楽しく、作業できるものと思います。
能率良くご使用いただく為に、ぜひこの説明書を一読ください。

もくじ

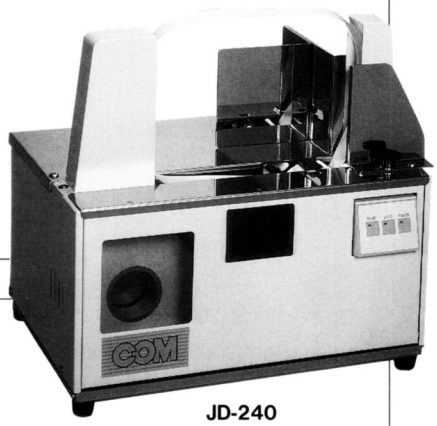
●テープの通し方 …… 3
●使用方法 …… 5
●故障・異常の処置方法
1.接着ができない …… 7
2.接着が片寄る …… 8
3.テープの輪が小さく又は大きくなる場合 …… 8
4.テープの接着が曲る …… 8
5.テープが切れない …… 9
6.ローラーにテープが巻き付く時 …… 10
7.テープがしわになる …… 10
8.テープ反転爪がテープを摑まない時 …… 11
9.センサーが働かない …… 11
●各部の名称 …… 12
(正面)(平面)(右側面)(透視図)
●パーツリスト …… 15
●ヒーターAss'y …… 17
●スペーサーAss'y …… 17
●テープ反転爪Ass'y …… 18
●右クランプAss'y …… 18
●メインシャフトAss'y …… 19
●カムシャフトAss'y …… 19
●アルミローラーAss'y …… 20
●スペーサーAss'y …… 20
●保証書 …… 21

収納ケース内の附属部品及び工具

1.機械本体……1
2.ガイド柱(本体と同色のもの)
テープを帯掛ができる状態にセットされた時テープを支える金具
- ●右側(狭い方)……1
- ●左側(広い方)……1

3.アタッチメント(クロームメッキ)
帯掛する時の帯の位置を調整する為の板
- ●アタッチメントA……1
  前位置決め板
- ●アタッチメントB……1
  奥位置決め板
- ●アタッチメントC……1
  前後位置決め板

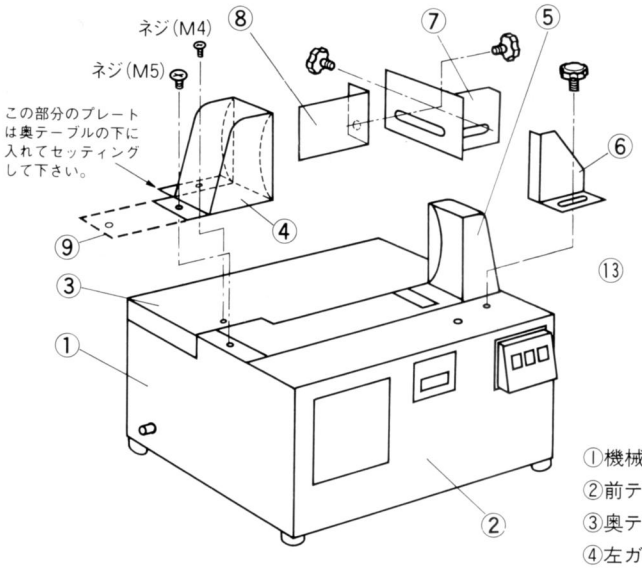
4.位置決め板用ノブボルト……3
5.予備ネジ……4(M4×2.M5×2)
6.カッター(予備)……1



JD-240

組立図

JD-240・JD-150F



①機械本体
②前テーブル
③奥テーブル
④左ガイド
⑤右ガイド
⑥アタッチメントA
⑦アタッチメントB
⑧アタッチメントC
⑨補助板(150F)のみ

JD240W・JD320は、組立の必要は有りません

テープの通し方

JD-240・JD-150F

本体前面テーブルをあけると下図の様になっています。

図1

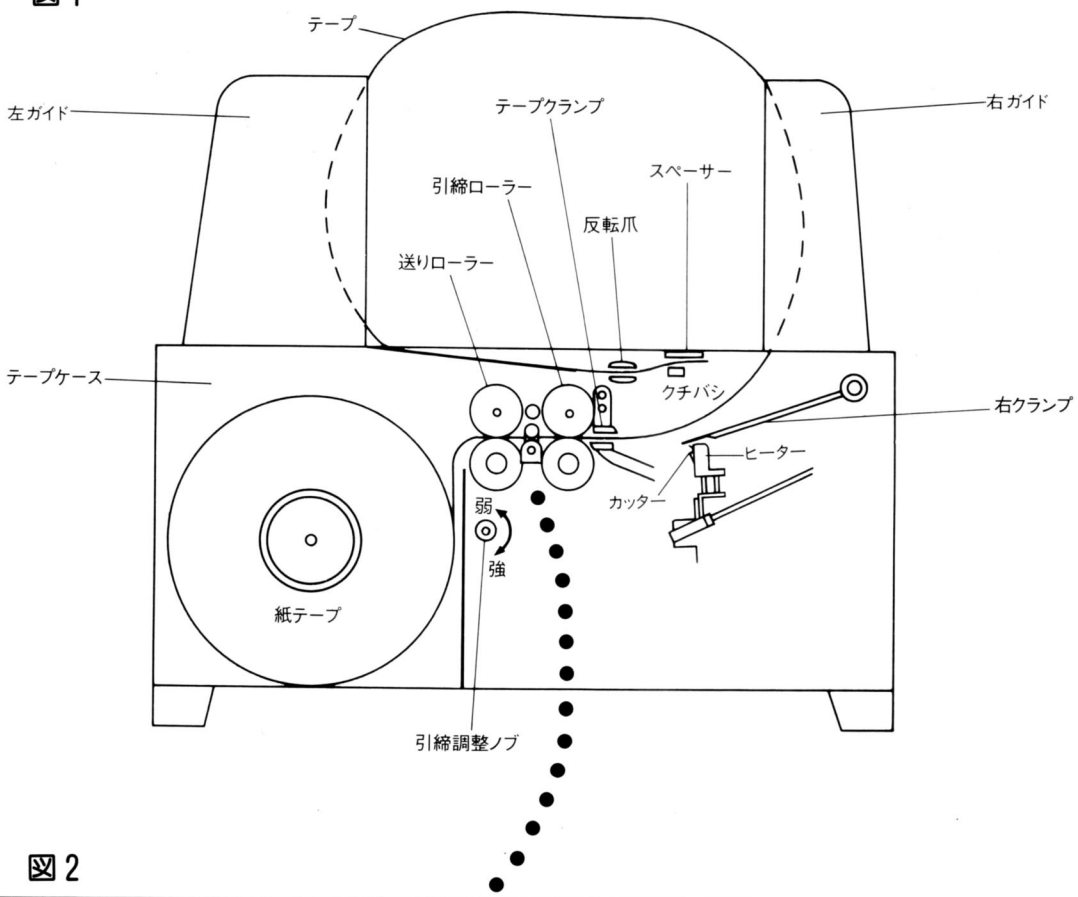
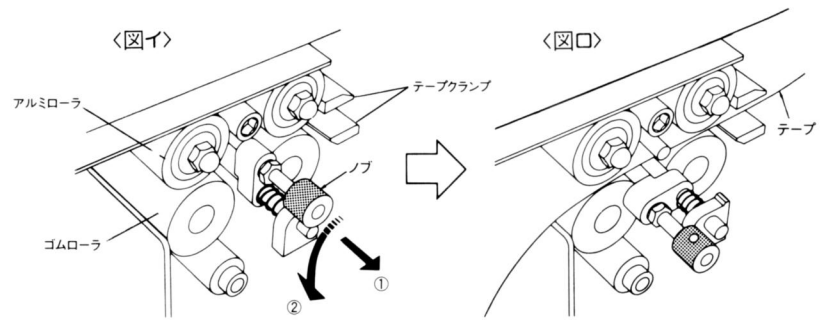


図2



〈図イ〉のノブを①のように手前に引き②のように左へ90°回す。　〈図ロ〉のようにテープセットする、完了後もとに戻す。

❶ テープをテープケースにいれる。図1
（テープの向に注意）

❷ アルミローラ，ゴムローラの間とテープクランプ間を通し約80㎝位引き出す。図2

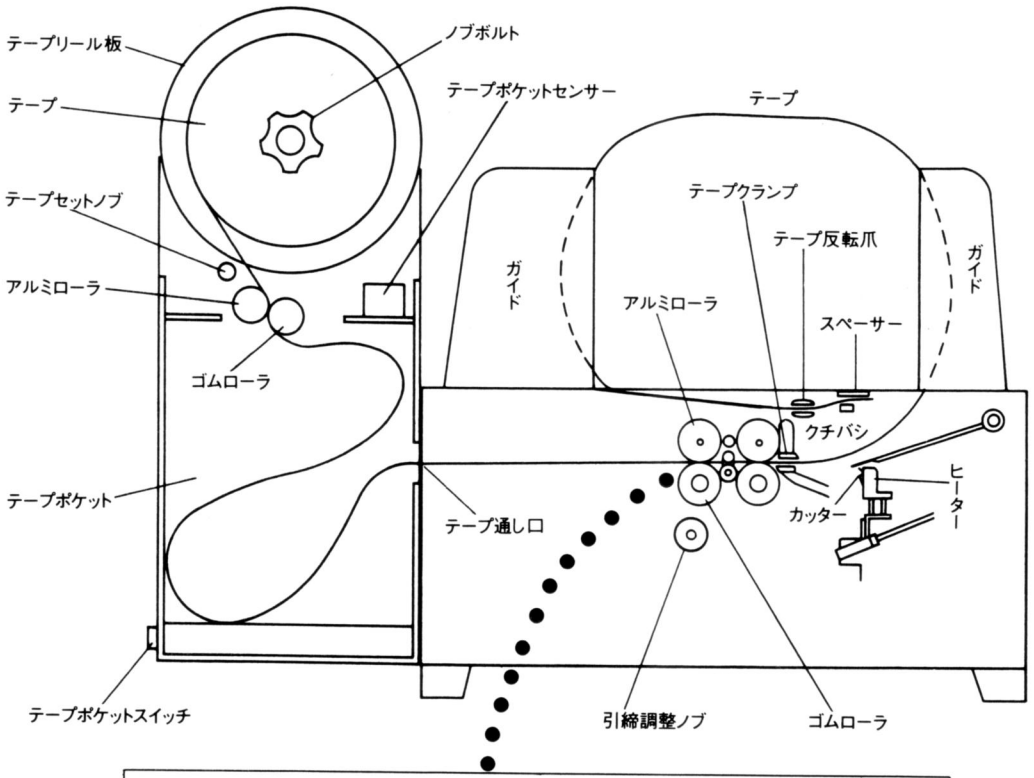
❸ テープ反転爪を通しスペーサーとクチバシの間にテープの先端を入れるその時テープ先端をスペーサーの右端より出さない事。

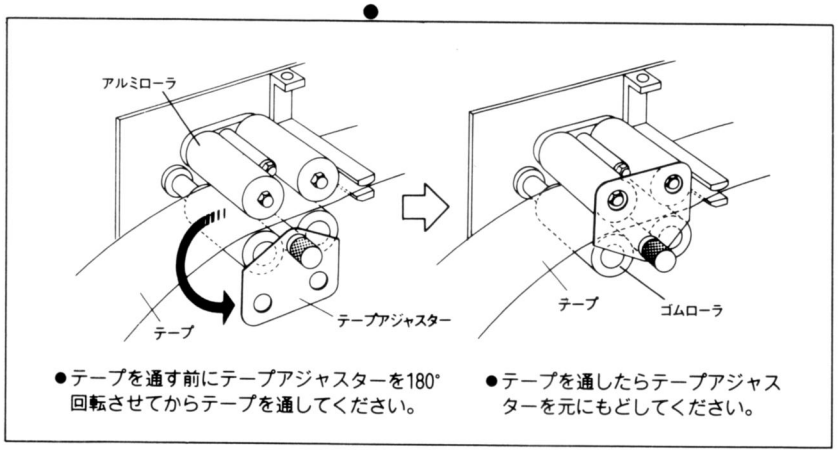
❹ 輪を作ったテープはガイドより少し高い位置が輪がくずれません。

テープの通し方

JD-240W

本体前面テーブルをあけると下図の様になっています。





●テープを通す前にテープアジャスターを180°回転させてからテープを通してください。

●テープを通したらテープアジャスターを元にもどしてください。

❶ テープポケット横のスイッチをOFFにする。（この時ランプ消灯）
❷ ノブボルトを回しテープリール板（前）を取り外しテープをセットする。
❸ テープセットノブを開き、テープをアルミローラとゴムローラの間に通しテープ通し口よりテープを入れる。
❹ テープポケット横のスイッチをONにする。（この時ランプ点灯）
❺ テープ反転爪を通しスペーサーとクチバシの間にテープの先端を入れる。
その時テープ先端をスペーサーの外に出さない事。
❻ 輪を作ったテープはガイドより少し高い位が輪がくずれません。

※ポケット内にテープがなくなってくるとテープポケットセンサーが働きテープがたまります。

使用方法

●本機の前扉を開け、〔テープ通し方〕の説明書きに基づきテープを通して下さい。

[準備]

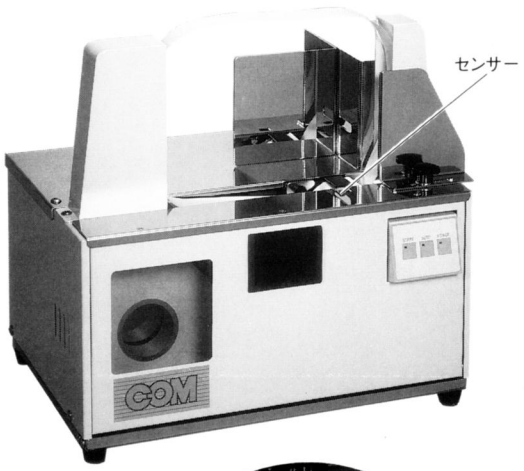
電源コードを右側面の電源インレットに差込みメインスイッチを入れると前面扉の操作スイッチBOXのPOWERランプが点滅する。約2分後点滅が消え、ランプが点灯し、ヒーターの温度が使用可能状態になり、以後ヒーターは連続通電します。

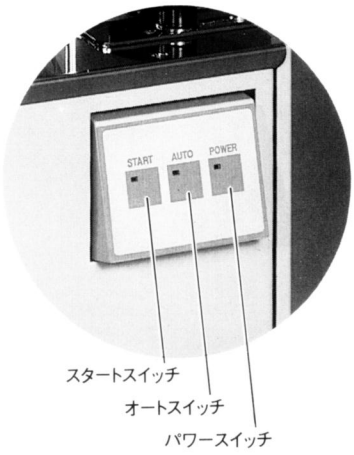
[手動操作]STARTスイッチON操作

品物をテーブルの上に置き、帯掛の位置を確認する。STARTスイッチ又はフットスイッチを押すと、テープが引締接着され帯掛が終了する。品物をテーブル上から取り除くと自動的にテープは輪立されます。

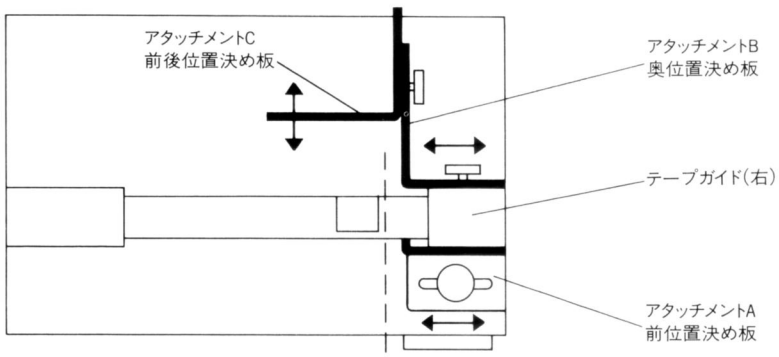
[自動操作]AUTOスイッチON操作

品物をテーブルの上に置くと前テーブル下のセンサーが検出し、自動的に上記帯掛ができます。





位置決め板の調整及び商品の位置

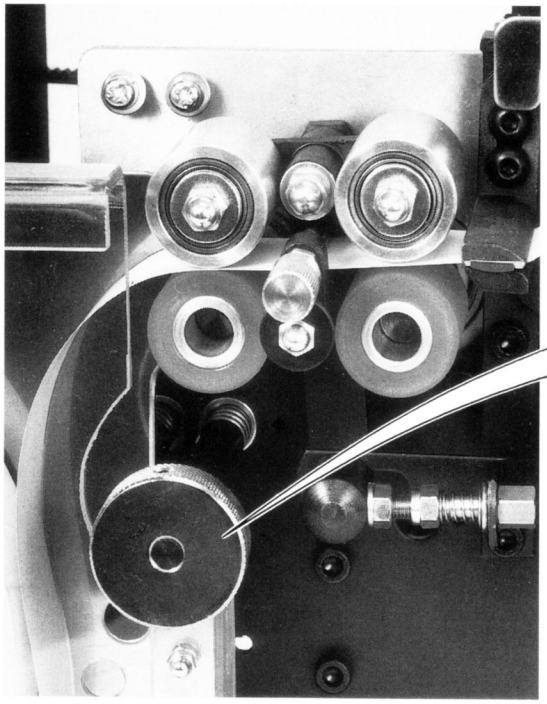


❶商品の大きさ、帯束の位置に応じて各位置決め板を移動させて下さい。

❷商品の右端をスペーサーの右側の線より（点線）右に置いて下さい。

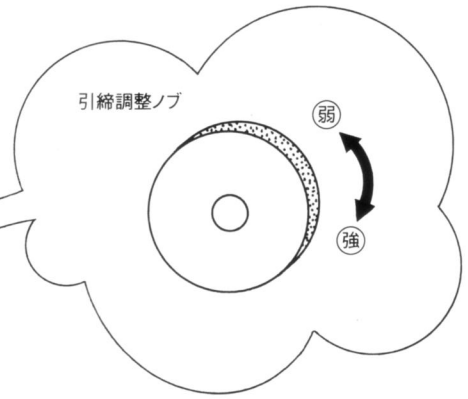
❸商品をテープガイド(右)に近づける程つよく締まります。

帯束の締付け強度の調整①



●テープ引締めの強弱

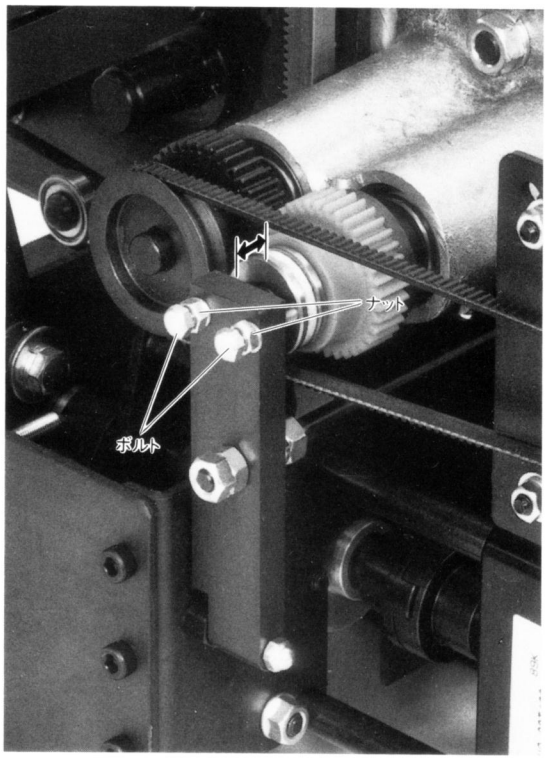
下図の引締め調整ノブを回して調整してください。



●商品に弾力がある場合

反発力で接着しないときは、接着切断完了する迄、手で商品の反発力を押えてください。

帯束の締付け強度の調整②



特別指定のない場合を除き標準的な引締め強度に調整しています。それ以上に又はそれ以下に調整をしたい場合は、奥テーブルを外し締付調整部分のボルトを調整する。

❶ より以上強くしたい場合

●調整ノブを左に回し弱の状態にする。左図のナットをゆるめボルトを締めるとより強くなります。

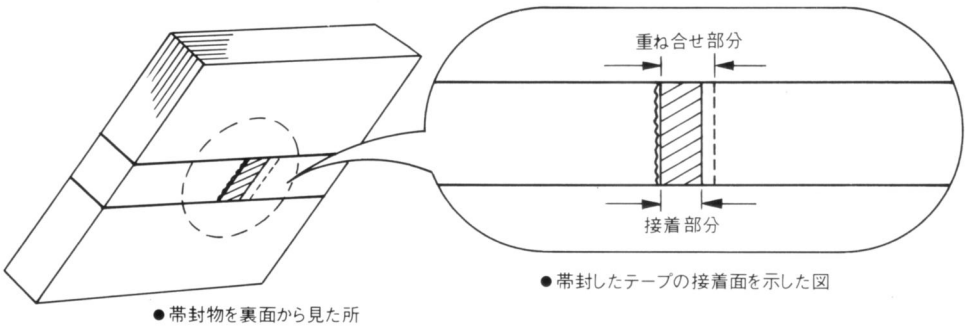
❷ より弱くしたい場合

●調整ノブを右に回し強の状態にする。ナットをゆるめボルトをゆるめると引締めが弱くなります。

故障・異常の処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、ただちに使用を中止して充分な点検をお願いします。

■正常に帯掛された状態を確認して下さい。



●帯封物を裏面から見た所

●帯封したテープの接着面を示した図

正常な状態のテープの重ね合せ部分は約12㎜、接着部分は約5㎜です。

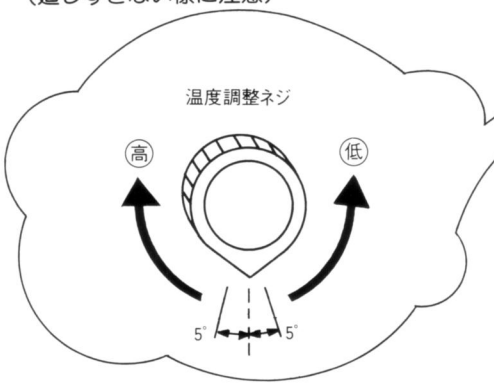
1 接着ができない

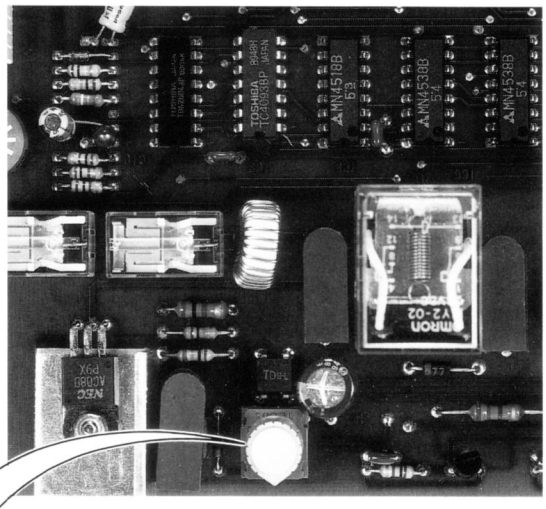
❶ ヒーターの温度が上らない

ヒーター欠損の為
……交換(カートリッジ方式)

❷ 温度が適温でない(温度の上りすぎ)

調整ネジを右に廻せば高くなり、左に廻せば低くなる(約5°)。
(廻しすぎない様に注意)

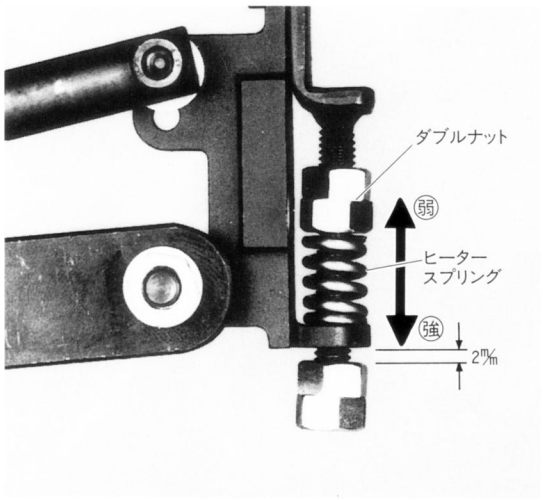




❸ ヒータープレートのプレスが弱い

①ヒータープレートの高さ及びヒータースプリングの調整。
矢印のダブルナットをゆるめ2回転くらい締めつける。

②ヒーター圧力はプレスした状態でスプリングが2㎜位縮むように。

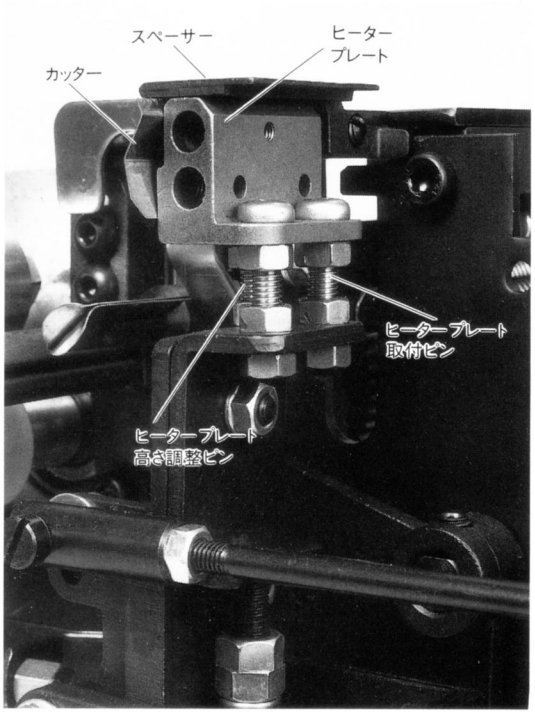


故障・異常の処置方法

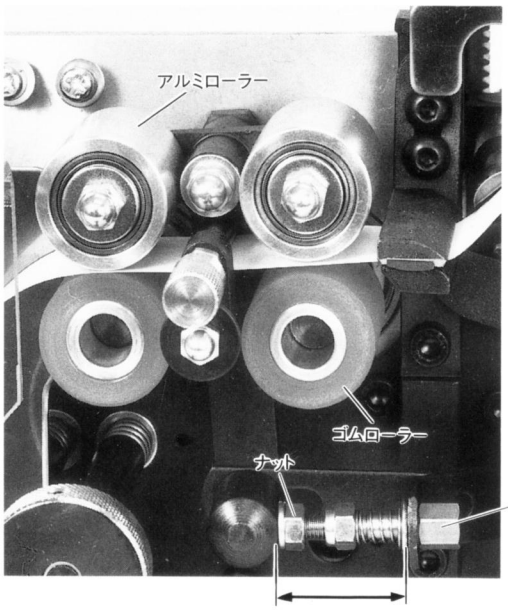
2 接着が片寄る

ヒータープレートとスペーサーの平行調整

ヒータープレートの取付けピンをゆるめて調整する。

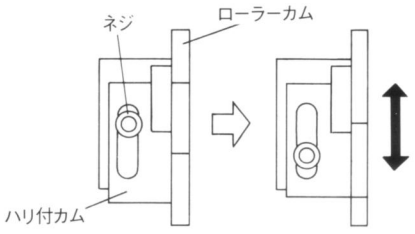


3 テープの輪が、小さく又は大きくなる場合



①上のナットをゆるめループ調整ピンで矢印の間を広げると輪が大きくなります。

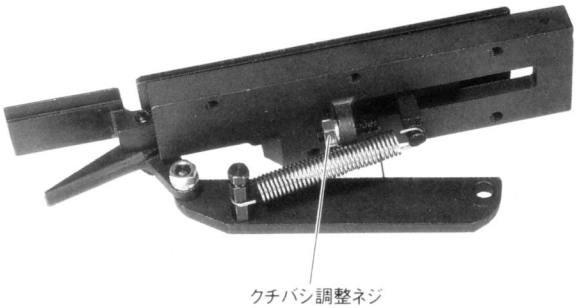
②ローラーカムについているハリ付カムを移動してカムの長さを調整する。



（20頁のカムシャフトAss'yの③④を参照）

4 テープの接着が曲がる

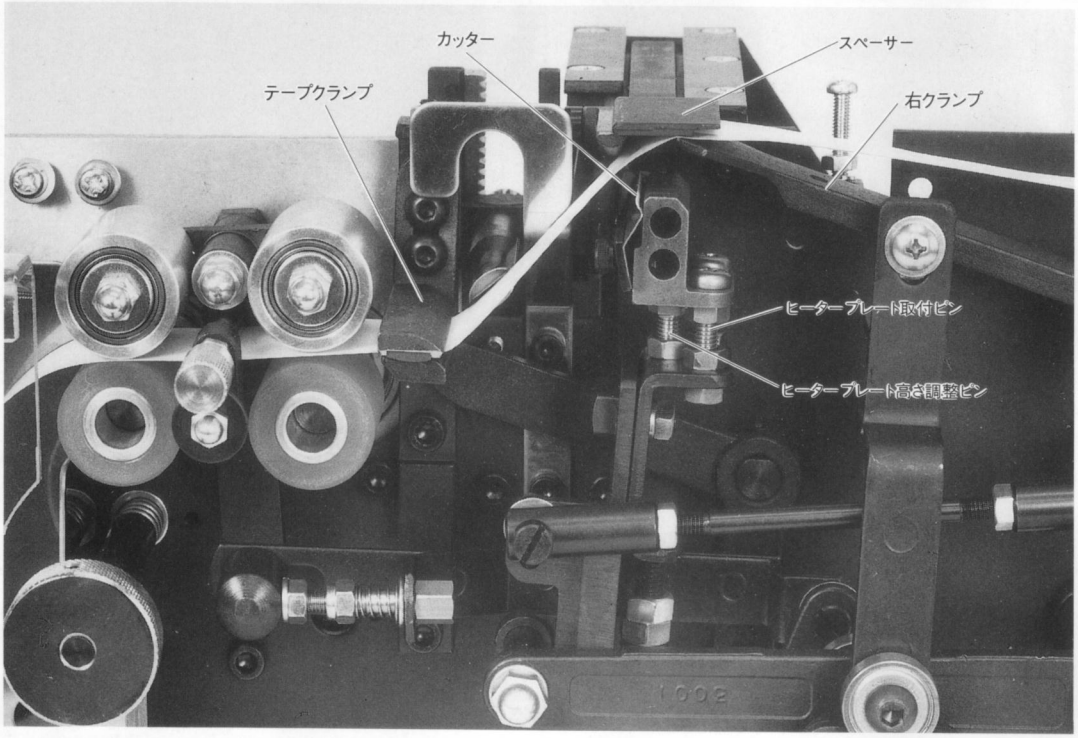
スペーサーとクチバシのクランプが弱いと、テープの先端を正常に摑まない為、テープが抜けたり曲がる原因になります。この場合下図の5㎜ホーローネジを締め、クランプを強くする。



故障・異常の処置方法

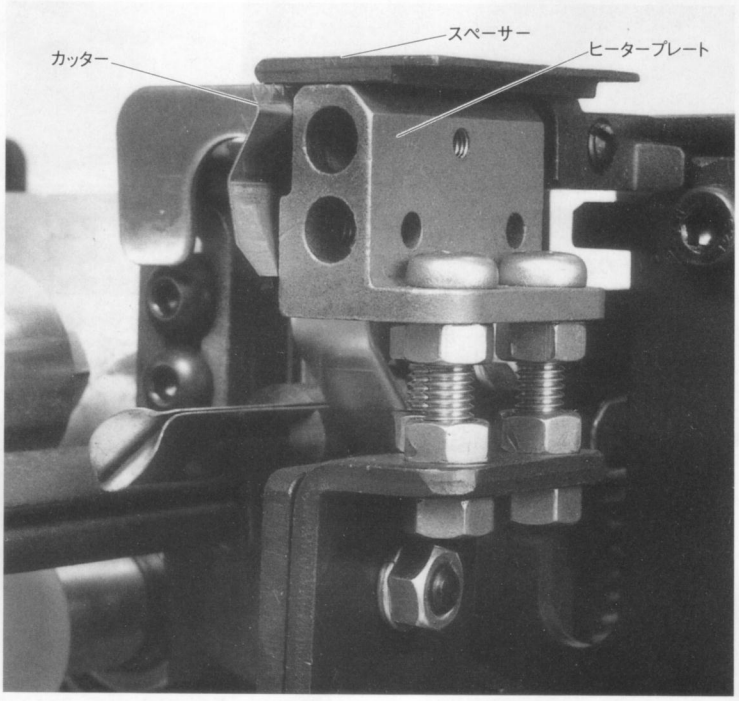
5 テープが切れない

写真のように右クランプと、テープクランプでテープを張った状態にし、カッターで押し上げ切断する機構になっており、どちらかが弱いと切れなくなる時があります。



❶ カッター取付不良

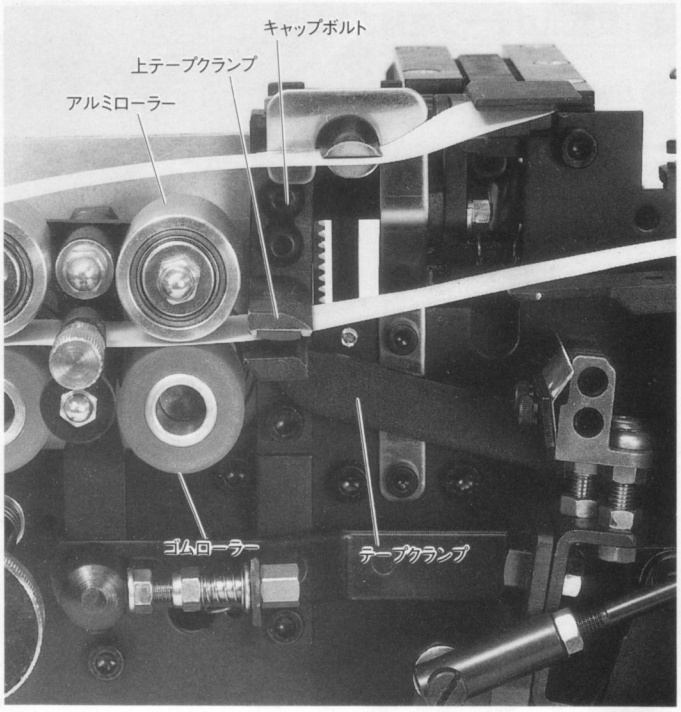
カッターがスペーサーに接した時に、ヒータープレートより上あるいは下になっていないかを見て、同じ高さに調整する。
カッターはヒータープレート面より上に出ない様にして下さい。



故障・異常の処置方法

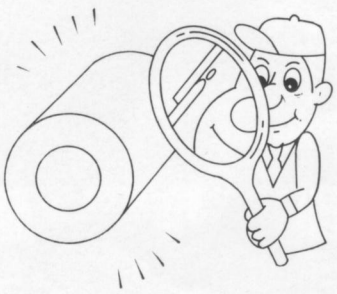
❷ テープクランプが弱い

上テープクランプで調整する。
キャップボルトをゆるめ、ほんの少し下げる。



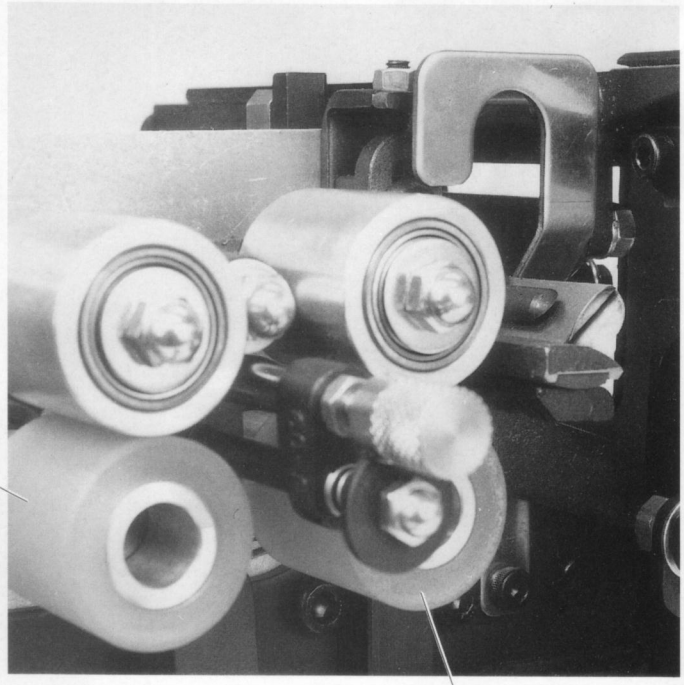
6 ローラにテープが巻き付く時

● ローラー及びテープクランプにゴミがついていないか。



7 テープがしわになる

● ローラーの摩耗により蛇行している場合にはローラー交換して下さい。



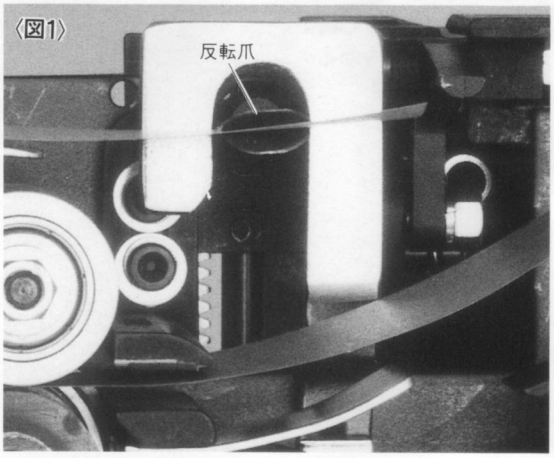
※ローラーは消耗品です。
期間は3～6ヶ月位です。
締付け度合によっても異なります。

故障・異常の処置方法

8 反転爪がテープを摑まない時

❶ 反転爪が上がった時、図１のように平行になっていますか?

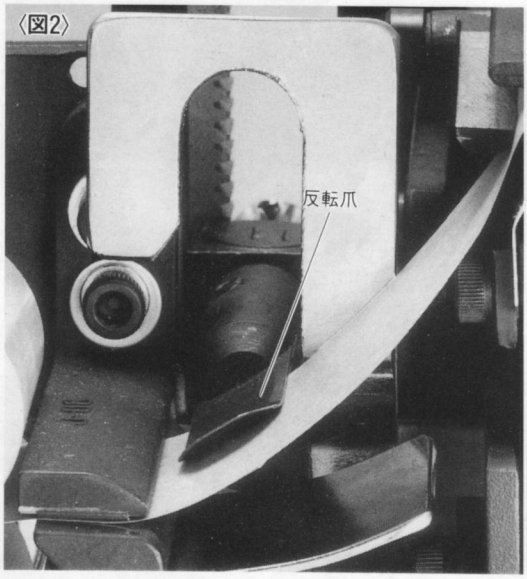
〈図1〉



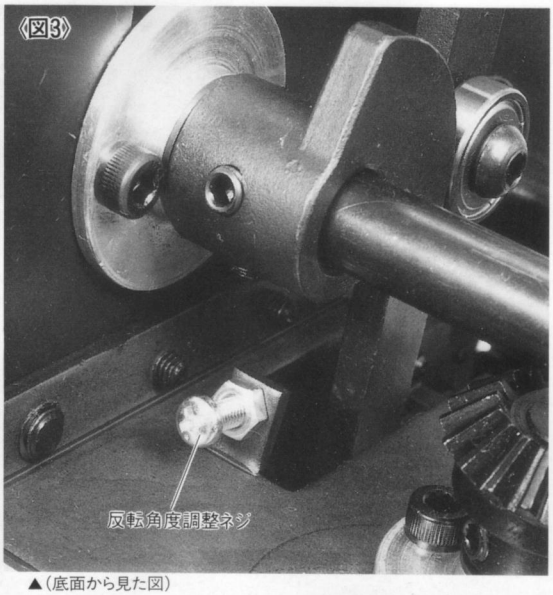
❷ 反転爪が下に下がった時、図２のように、テープを真すぐ摑んでいますか?

真すぐ摑んでいなければ、図３のテープ反転角度調整ネジで角度を調整して下さい。

〈図2〉



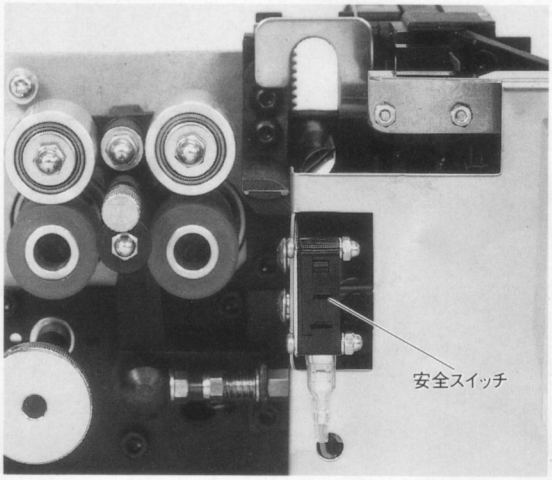
〈図3〉



▲(底面から見た図)

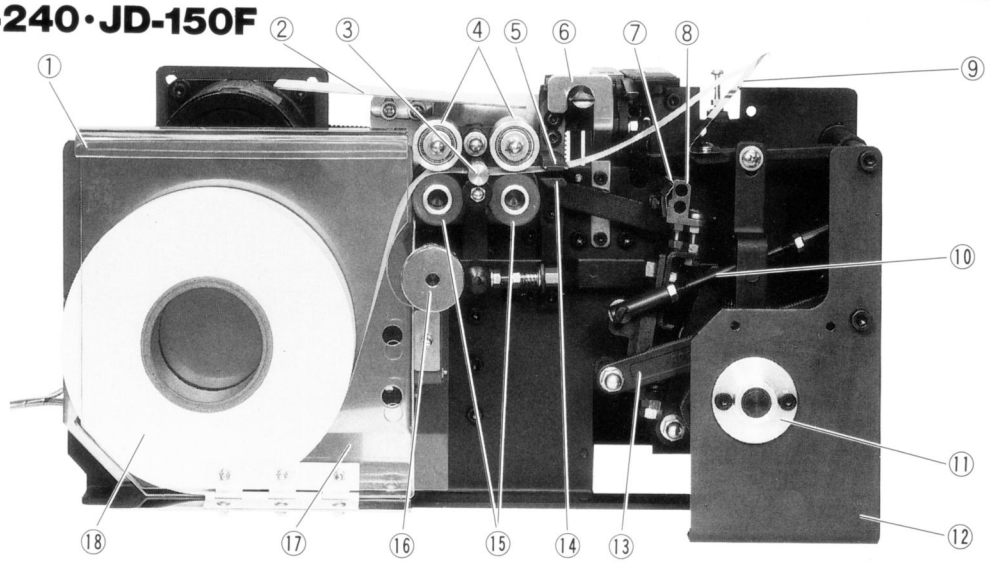
9 センサーが働かない

前扉を閉めた時に、右図の安全スイッチがONしないと、センサーは働きませんので前扉を完全に閉めて下さい。



各部の名称(正面)

JD-240・JD-150F

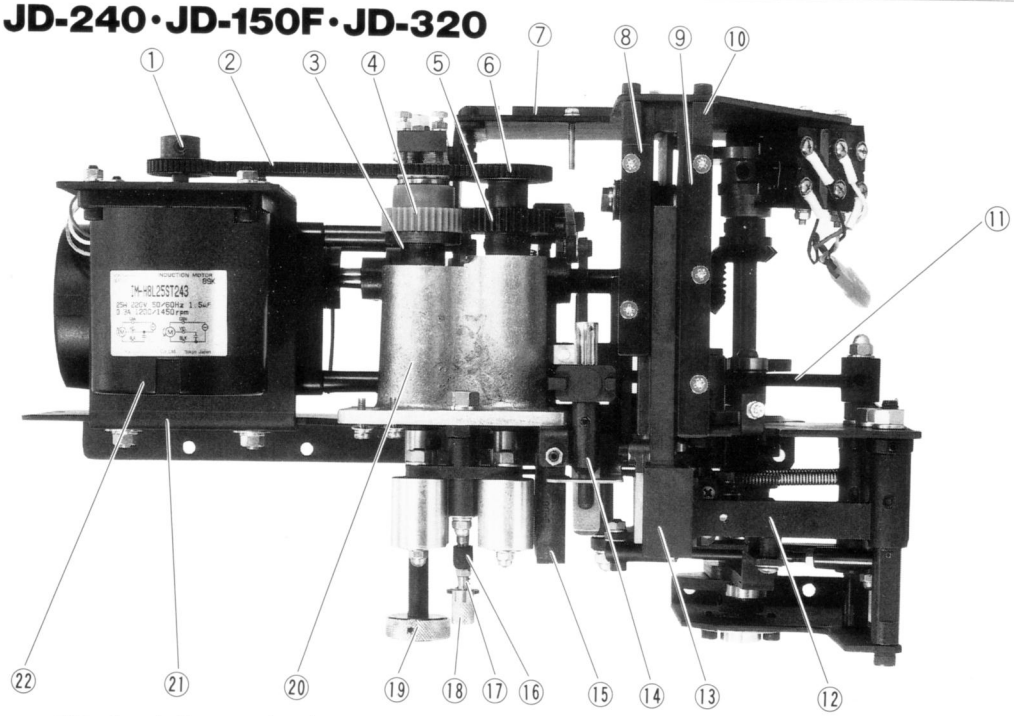


①テープケース	(1031)	⑦カッター	(3015)	⑬ヒーターレバー	(3001)
②テープ受皿	(1039)	⑧ヒータープレート	(3014)	⑭テープクランプレバー	(3027)
③テープセットノブ	(4034)	⑨巻込防止板	(3021)	⑮ゴムローラー	(4017)
④アルミローラー	(4018)	⑩ターンバックル	(3007)	⑯引締調整ノブ	(4023)
⑤テープクランプ(上)	(3033)	⑪メタル	(2018)	⑰テープケースアクリル板	(1032)
⑥スリップ板	(1041)	⑫サブプレート	(1055)	⑱テープ	

★部品名称の後にある番号は部品番号です。(以下同じ)

各部の名称(平面)

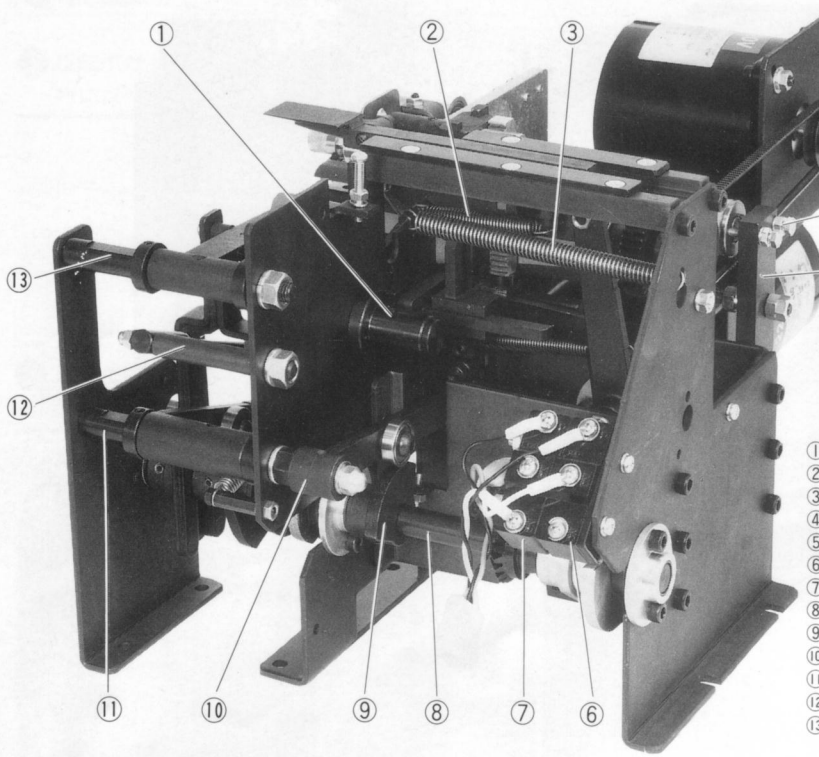
JD-240・JD-150F・JD-320



①モータープーリー	(4001)	⑨スペーサー押エ(右)	(3038)	⑰テープセットスプリング	(4037)
②Vベルト	(4002)	⑩スライドメタル	(3037)	⑱セットノブ	(4034)
③トルカラー	(4007)	⑪反転上下レバー	(4065)	⑲引締調整ノブ	(4023)
④プラスチックギアー	(4005)	⑫右クランプレバー	(3017)	⑳ローラーメタル	(4008)
⑤送りギアー	(4004)	⑬スペーサー	(3040)	㉑送りモーター取付板	(1056)
⑥送りプーリー	(4003)	⑭反転爪	(4048)	㉒送りモーター	
⑦後プレート	(1053)	⑮テープクランプ(上)	(3033)		
⑧スペーサー押エ(左)	(3039)	⑯テープ巾決め	(4028)		

各部の名称(右側面)

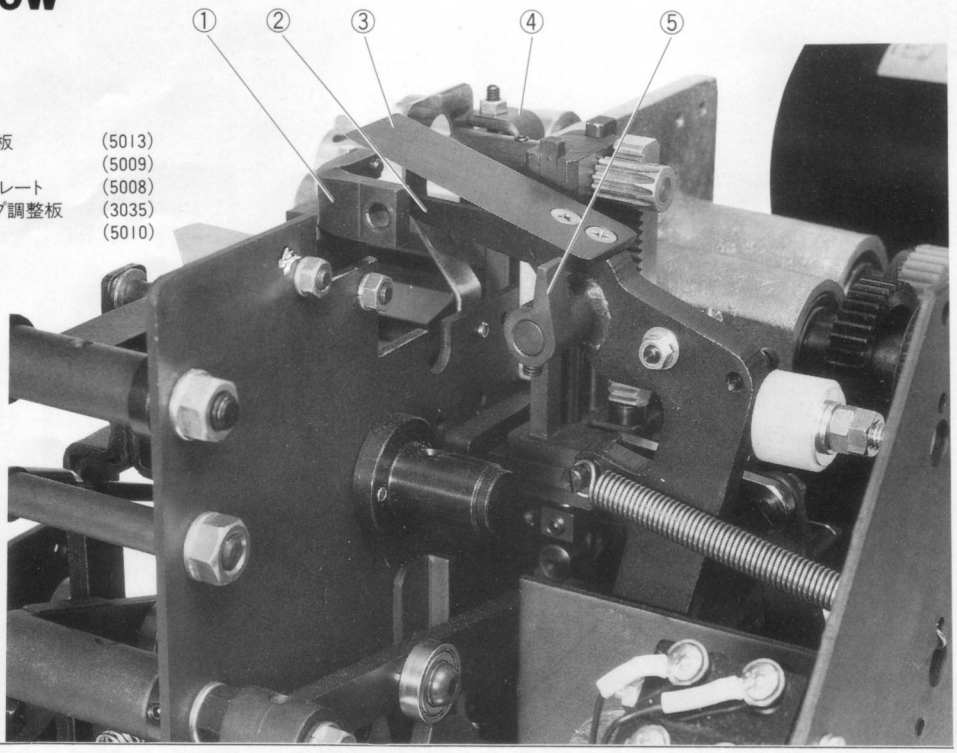
JD-240・JD-150F・JD-320



①テープクランプレバーメタル (3026)
②クチバシスプリング (3045)
③スペーサースプリング (3052)
④引締調整ボルト
⑤引締調整板 (4019)
⑥駆動リミット S/W
⑦センサーリミット S/W
⑧カムシャフト (2008)
⑨反転上下カム (2012)
⑩反転上下レバー (4065)
⑪ヒーターレバー軸 (3003)
⑫ターンバックル軸 (3008)
⑬右クランプレバー軸 (3018)

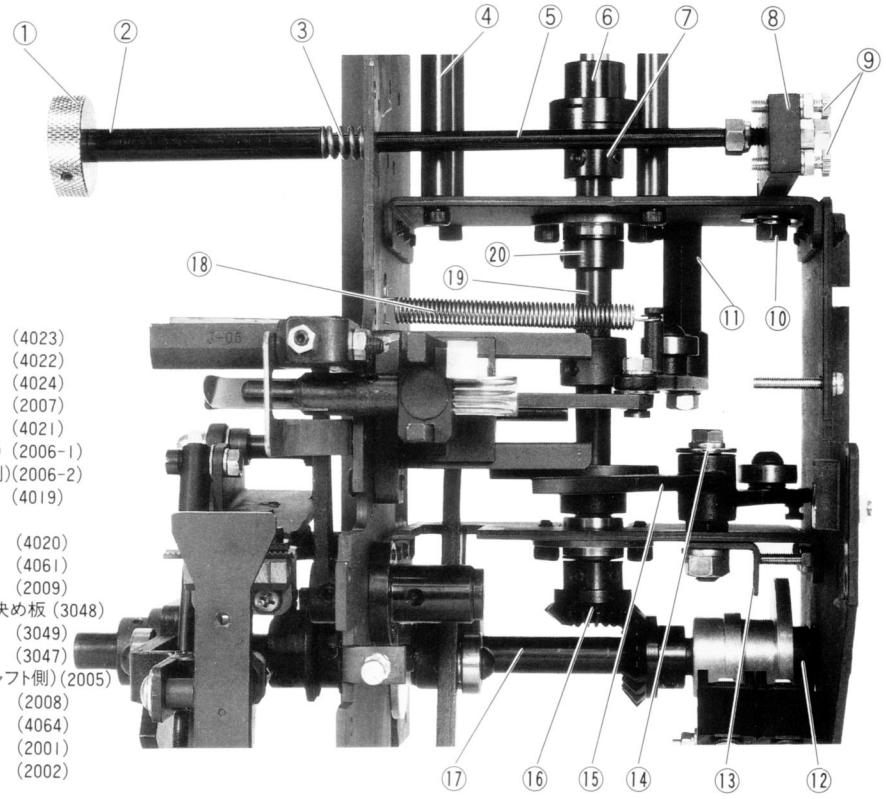
JD-240W

①クチバシ調整板 (5013)
②クチバシ (5009)
③スペーサープレート (5008)
④テープクランプ調整板 (3035)
⑤クチバシ当て (5010)



各部の名称(透視)

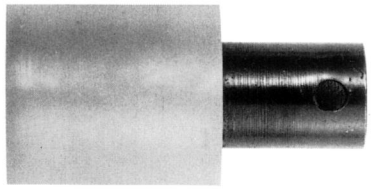
JD-240・JD-150F・JD-240W・JD-320



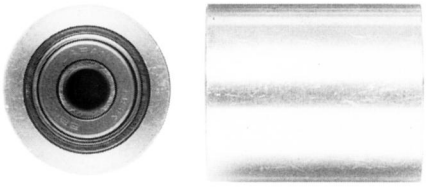
①引締調整ノブ　(4023)
②引締調整カラー　(4022)
③引締調整スプリング　(4024)
④モーター取付カラー　(2007)
⑤引締調整ロッド　(4021)
⑥カップリングA(シャフト側)　(2006-1)
⑦カップリングB(モーター側)(2006-2)
⑧引締調整板　(4019)
⑨引締調整ボルト
⑩引締調整板ピン　(4020)
⑪反転引レバー軸　(4061)
⑫カムシャフトカラー　(2009)
⑬スペーサーレバー位置決め板 (3048)
⑭スペーサーレバー軸　(3049)
⑮スペーサーレバー　(3047)
⑯ベベルギアー(メインシャフト側)(2005)
⑰カムシャフト　(2008)
⑱反転引スプリング　(4064)
⑲メインシャフト　(2001)
⑳メインシャフトカラー　(2002)

パーツリスト

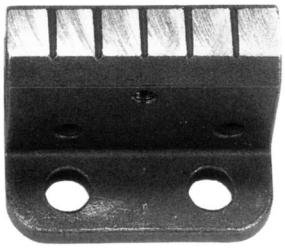
●ゴムローラー



●アルミローラー（ベアリング2ケ使用）



●ヒータープレート



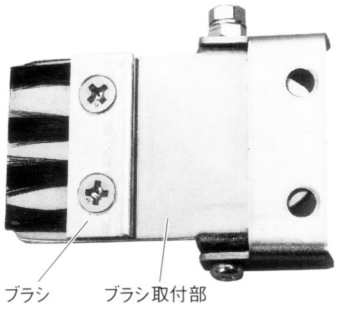
●カッター

●カートリッジヒーター

●センサー

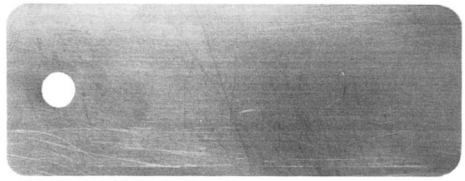
●反転爪

●静電防止ブラシAss'y



パーツリスト

●テープ巻込み防止板



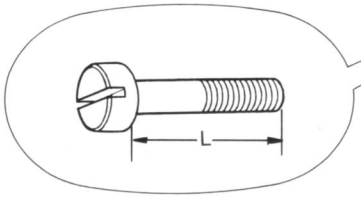
●テープクランプ

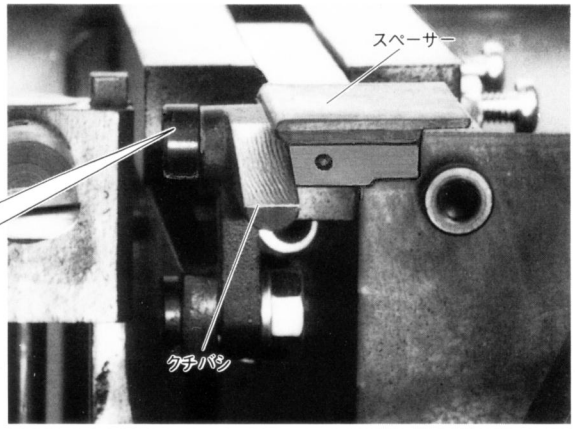
●40㎜スペーサープレート

●50㎜スペーサープレート

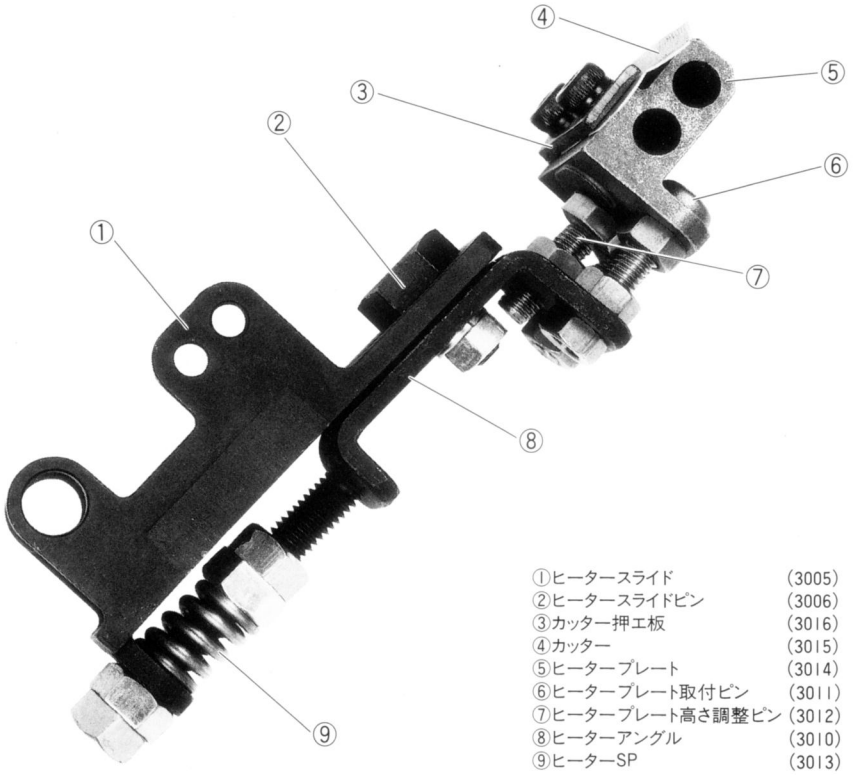
●クチバシピン

テープ巾	L
10mm～40㎜	21mm



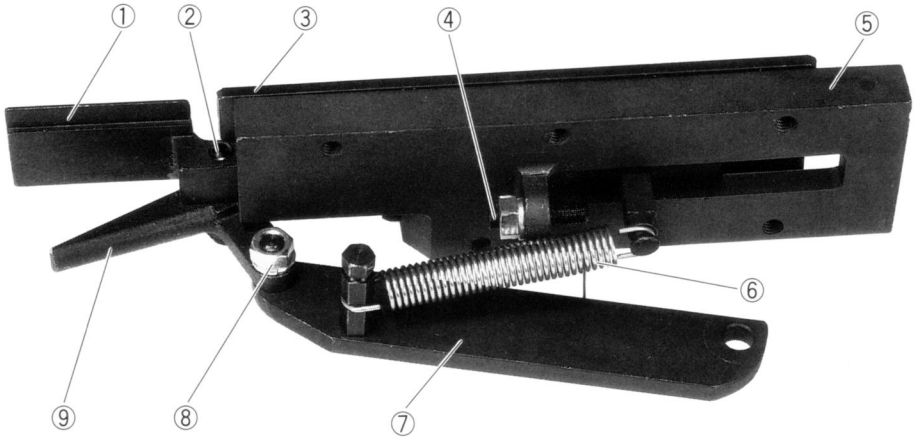


ヒーターAss'y



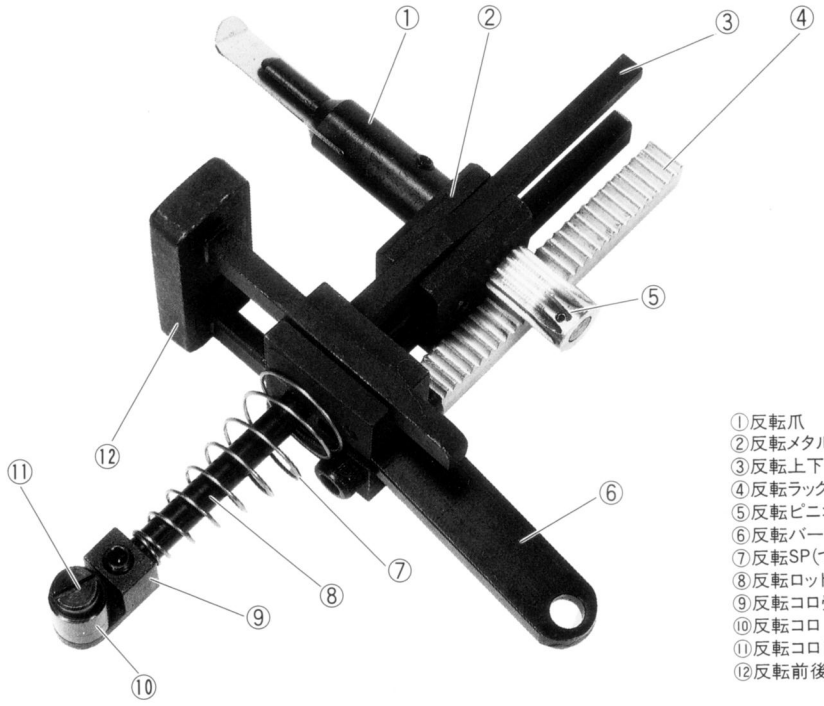
①ヒータースライド	(3005)
②ヒータースライドピン	(3006)
③カッター押エ板	(3016)
④カッター	(3015)
⑤ヒータープレート	(3014)
⑥ヒータープレート取付ピン	(3011)
⑦ヒータープレート高さ調整ピン	(3012)
⑧ヒーターアングル	(3010)
⑨ヒーターSP	(3013)

スペーサーAss'y



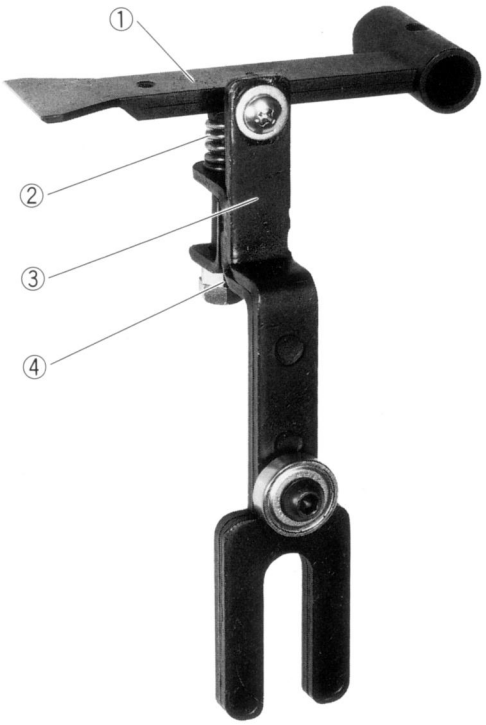
①スペーサー	(3040)
②クチバシピン	(3043)
③スペーサー押エ板右	(3038)
スペーサー押え板左	(3039)
④クチバシ調整ネジ	
⑤スライドメタル	(3037)
⑥クチバシSP	(3045)
⑦クチバシバー	(3044)
⑧クチバシバーピン	(3046)
⑨クチバシ	(3042)

テープ反転爪Ass'y



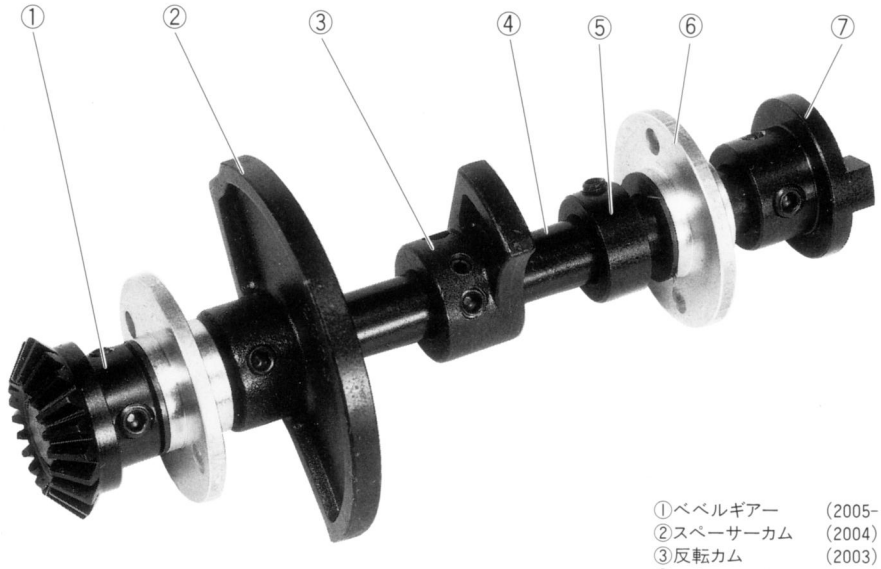
①反転爪　(4048)
②反転メタル　(4051)
③反転上下スライド(4049)
④反転ラック　(4052)
⑤反転ピニオン　(4053)
⑥反転バー　(4060)
⑦反転SP(つる巻)　(4059)
⑧反転ロッド　(4054)
⑨反転コロ受　(4056)
⑩反転コロ　(4057)
⑪反転コロピン　(4058)
⑫反転前後スライド(4050)

右クランプAss'y



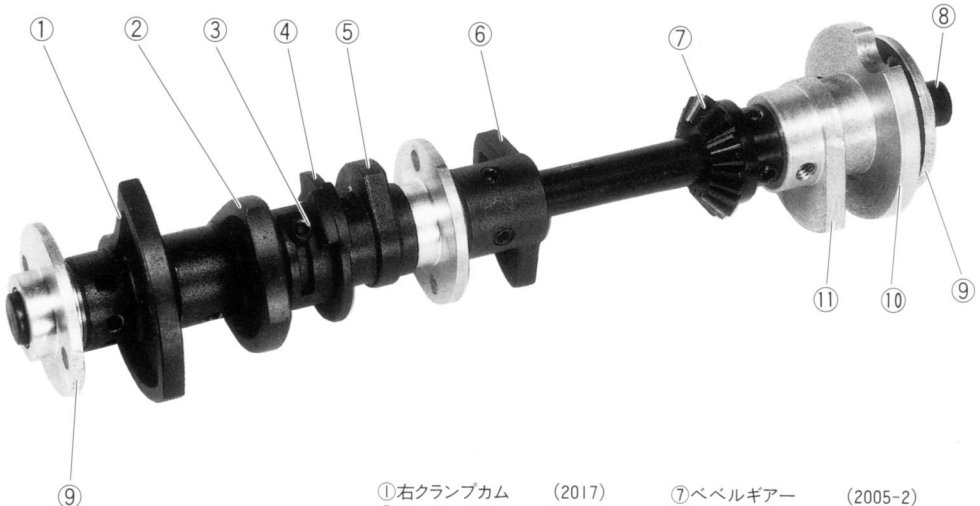
①右クランプレバー　(3017)
②右クランプスプリング(3023)
③右クランプバー　(3022)
④右クランプSPピン　(3024)

メインシャフトAss'y



①ベベルギアー (2005-1)
②スペーサーカム (2004)
③反転カム (2003)
④メインシャフト (2001)
⑤メインシャフトカラー (2002)
⑥メタル (2018)
⑦カップリングA (2006)

カムシャフトAss'y

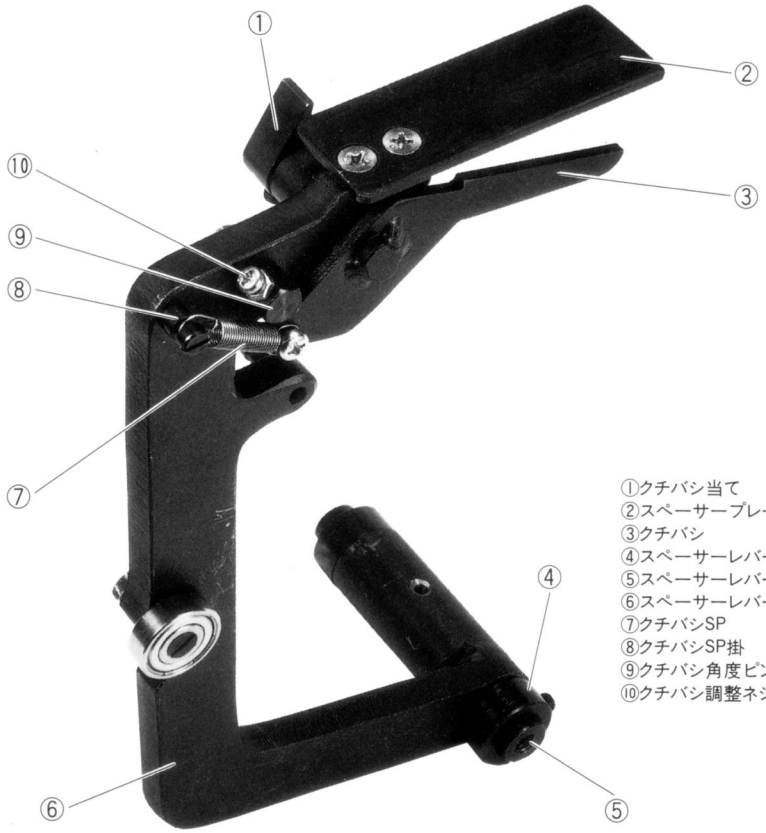


①右クランプカム (2017)
②ヒーターカム (2016)
③張付カム (2015)
④ローラーカム (2014)
⑤クランプカム (2013)
⑥反転上下カム (2012)
⑦ベベルギアー (2005-2)
⑧カムシャフト (2008)
⑨メタル (2018)
⑩駆動リミットカム (2010-1)
⑪センサーリミットカム (2011-1)

アルミローラーAss'y

①アルミローラー (4018)
②テープ巾決めピン (4031)
③テープセットノブ (4034)
④テープセットワッシャ (4036)
⑤テープセットスプリング (4037)
⑥テープ巾決め (4028)
⑦テープ巾決め平行ピン (4032)
⑧アルミローラー板 (4025)
⑨アルミローラー板カラー (4038)
⑩アルミローラー板軸 (4026)

スペーサー(50㎜)Ass'y



①クチバシ当て (5010)
②スペーサープレート (5008)
③クチバシ (5009)
④スペーサーレバー軸カラー (5004)
⑤スペーサーレバー軸 (5003)
⑥スペーサーレバー (5001)
⑦クチバシSP (5011)
⑧クチバシSP掛 (5012)
⑨クチバシ角度ピン (5002)
⑩クチバシ調整ネジ

COM自動帯束機保証書

型　　式	
機　械　番　号	
保　証　期　間	6カ月
お買い上げ年月日	年　月　日
お客様ご住所	〒＿＿＿＿ TEL お客様ご芳名　　様

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1．お客様の取扱説明書、本体張り付けラベル等の注意書による正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合には、商品と本書をお買い上げの販売店にご依頼ください。

2．次のような場合には、保証期間中でも有償修理になります。

イ．使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷

ロ．お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下などによる故障および損傷

ハ．火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因による故障および損傷

3．本書は日本国内においてのみ有効です。

大洋精機株式会社
大阪府大東市氷野4丁目3番7号 〒574-0062
TEL(072)873-3739(代) FAX(072)875-4324

販売店

大洋精機株式会社

大阪府大東市氷野4丁目3番7号 〒574-0062
TEL(072)873-3739(代) FAX(072)875-4324
URL : http://www.com-machine.co.jp
e-mail : taiyo@com-machine.co.jp

COMはCommunicationです。